

中丹管内二級河川流域治水協議会

設立趣旨

近年、毎年のように全国各地で自然災害が頻発し甚大な被害が発生している。また、気候変動による水災害リスクの増大にも備えていく必要があるため、これまでの河川・下水道管理者等の取り組みだけではなく、集水域から氾濫域にわたる流域に関わるあらゆる関係者（府・市町・企業・住民等）が主体的に取り組む社会を構築する必要がある。

このため、今後、流域全体で行う治水「流域治水」へ転換することによって、施策や手段を充実し、それらを適切に組合せ、加速化させることで効率的・効果的な治水安全度の向上を実現させる。

また、中丹管内二級河川流域における早急に実施すべき流域全体での対策を「流域治水プロジェクト」としてその全体像を社会全体にわかりやすく示し、地域が共通の理解をもち議論を継続することを目的として、本協議会を設置する。